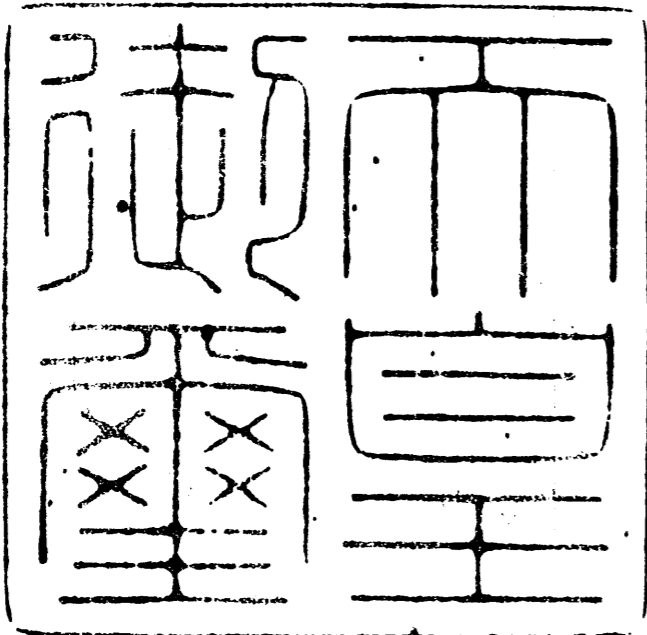


法律第三十三號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル南方開發
金庫法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

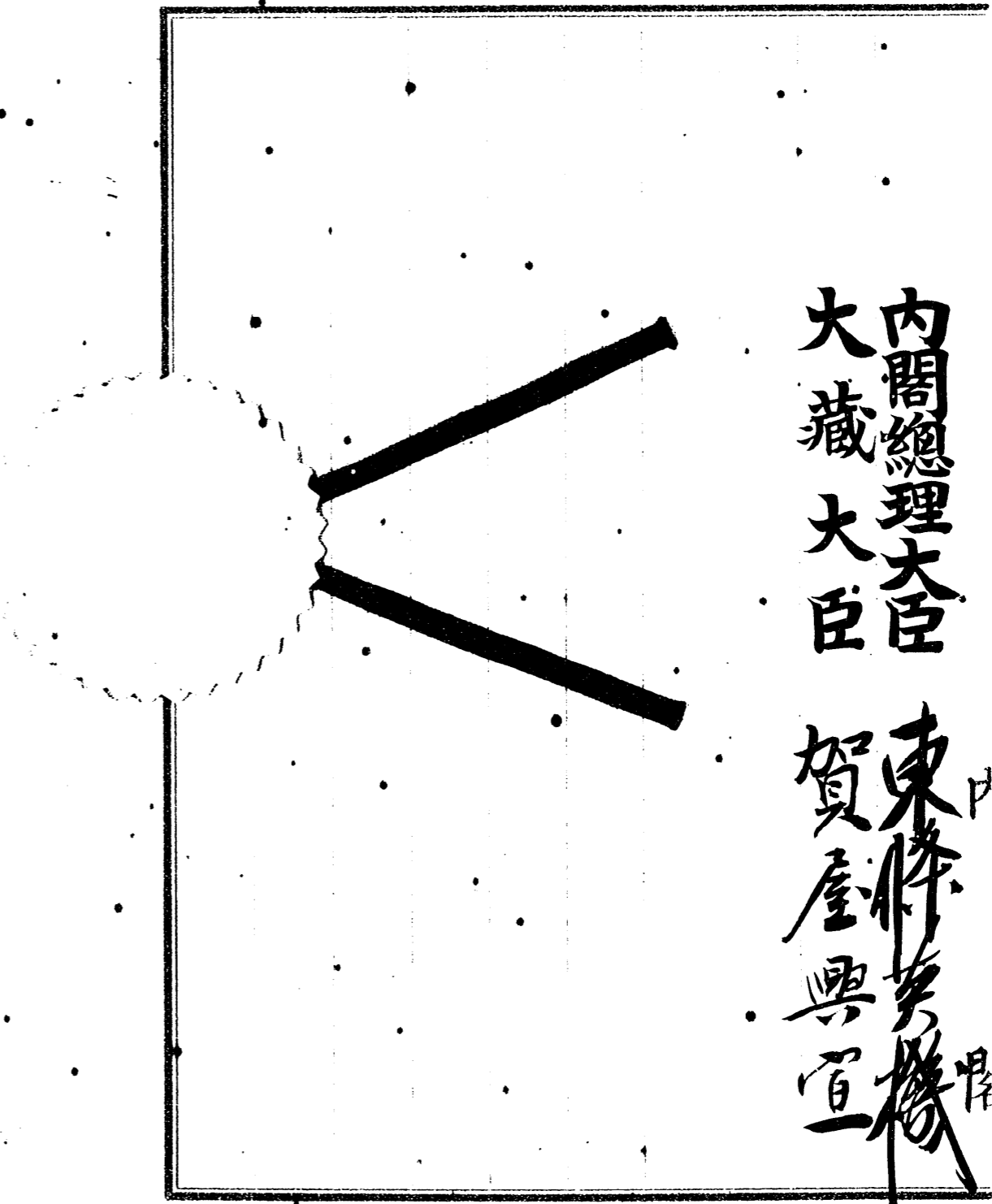
裕仁



昭和十七年二月十九日

日

内閣總理大臣
大藏大臣
東條 英機
賀屋 興宣



法律第三十二號

南方開發金庫法

第一章 總則

第一條 南方開發金庫ハ南方地域ニ於ケル資源ノ開發及利用ニ必要ナル資金ヲ供給シ併セテ
通貨及金融ノ調整ヲ圖ルヲ目的トス

南方開發金庫ハ法人トス
第二條 南方開發金庫ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

南方開發金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ置クコトヲ得
第三條 南方開發金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ銀行其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ヲシテ業務
ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第四條 南方開發金庫ノ資本金ハ一億圓トス但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ

得

第五條 政府ハ一億圓ヲ南方開發金庫ニ出資スベシ

前項ノ出資ハ國債證券ヲ交付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第六條 政府ハ其ノ持分ノ一部ヲ讓渡スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ讓渡ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 出資ノ第一回ノ拂込金額ハ出資金額ノ十分ノ一ヲ下ラザル額トシ第二回以後ノ出資

ノ拂込ノ時期及金額ハ南方開發金庫主務大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ定ム

第八條 南方開發金庫ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 資本金額及資産ニ關スル事項

五 役員ニ關スル事項

六 業務及其ノ執行ニ關スル事項

七 債券ノ發行ニ關スル事項

八 會計ニ關スル事項

九 公告ノ方法

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第九條 南方開發金庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十條 南方開發金庫ニハ當分ノ内所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ

北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ當分ノ内南方開發金庫ノ事業ニ對シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 南方開發金庫ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 南方開發金庫ニ非ザル者ハ南方開發金庫又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第二章 職員

第十三條 南方開發金庫ニ役員トシテ總裁副總裁各一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第十四條 總裁ハ南方開發金庫ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副總裁ハ定款ノ定ムル所ニ依リ南方開發金庫ヲ代表シ總裁ヲ輔佐シテ南方開發金庫ノ業務ヲ掌理シ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ南方開發金庫ヲ代表シ總裁及副總裁ヲ輔佐シテ南方開發金庫ノ業務ヲ掌理シ總裁及副總裁共ニ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁及副總裁共ニ缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ南方開發金庫ノ業務ヲ監査ス

第十五條 總裁及副總裁ハ勅裁ヲ經テ政府之ヲ命ズ

理事及監事ハ主務大臣之ヲ命ズ

總裁、副總裁、理事及監事ノ任期ハ二年トス

第十六條 總裁、副總裁及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ從タル事務所ノ業務ニ關シ一切ノ裁

判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選任スルコトヲ得

六

第十七條 總裁、副總裁及理事ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 南方開發金庫ノ職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第三條ノ場合ニ於テ當該業務ニ從事スル銀行其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ職員ニ付亦前項ニ同ジ

前二項ノ職員ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章 業務

第十九條 南方開發金庫ハ資源ノ開發及利用ノ爲必要ナル融資又ハ投資ヲ爲スノ外左ノ業務ヲ行フ

一 預り金

二 地金銀ノ賣買

三 通貨ノ交換

四 爲替ノ賣買

南方開發金庫ハ前項ノ業務ニ附帶スル業務ヲ行フコトヲ得

第二十條 南方開發金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前條ノ業務ノ外南方開發金庫ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第四章 債券

第二十一條 南方開發金庫ハ拂込出資金額ノ十倍ヲ限リ債券ヲ發行スルコトヲ得

第二十二條 南方開發金庫ハ債券借換ノ爲一時前條ノ制限ニ依ラズ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタルトキハ發行後一月以内ニ其ノ發行額面金額ニ相當スル舊債券ヲ償還スベシ

七

第二十三條 南方開發金庫ニ於テ債券ヲ發行セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十四條 政府ハ債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第二十五條 債券ノ消滅時効ハ元本ニ在リテハ十五年、利息ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第二十六條 債券ノ所有者ハ南方開發金庫ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟

ヲ受クル權利ヲ有ス

前項ノ規定ハ民法上ノ一般ノ先取特權ノ行使ヲ妨グルコトナシ

第二十七條 所得税法及有價證券移轉税法中國債以外ノ公債ニ關スル規定ハ債券ニ之ヲ準用ス

第二十八條 本章ニ規定スルモノヲ除クノ外債券ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章 會計

第二十九條 南方開發金庫ノ事業年度ハ四月ヨリ翌年三月迄トス

第三十條 南方開發金庫ハ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ財産目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ主務大臣ノ承認ヲ受クベシ

第六章 監督及補助

第三十一條 南方開發金庫ハ主務大臣之ヲ監督ス

第三十二條 南方開發金庫借入金ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十三條 南方開發金庫剩餘金ノ處分ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十四條 南方開發金庫ハ業務開始ノ際業務ノ方法ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ニ

重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同ジ

南方開發金庫ハ毎事業年度ノ初ニ於テ事業計畫及收支豫算ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同ジ

第三十五條 主務大臣ハ南方開發金庫ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査

ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 役員ガ法令、定款若ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ總裁及副總裁ニ付テハ政府、理事及監事ニ付テハ主務大臣之ヲ解任スルコトヲ得

第三十七條 政府ハ南方開發金庫ニ對シ第十九條第一項ニ規定スル融資又ハ投資ニ因リテ受ケタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ契約ハ之ニ基キ交付スベキ補償金ノ總額ガ帝國議會ノ協贊ヲ經タル金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第一項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第三十八條 前條第一項ノ損失及其ノ額ハ特別融通損失審査會之ヲ決定ス

第七章 罰則

第三十九條 左ノ場合ニ於テハ南方開發金庫ノ總裁、副總裁、理事又ハ監事ヲ千圓以下ノ過料

ニ處ス

一 本法ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 本法ニ規定セザル業務ヲ行ヒタルトキ

三 第二十一條又ハ第二十二條第二項ノ規定ニ違反シ債券ノ發行ヲ爲シ又ハ償還ヲ爲サザルトキ

四 主務大臣ノ監督上ノ命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

第四十條 左ノ場合ニ於テハ南方開發金庫ノ總裁、副總裁、理事又ハ監事ヲ五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 第三十條ノ規定ニ依ル書類ヲ作成セザルトキ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ
若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ書類ニ付主務大臣ノ承認ヲ受ケザルトキ

第四十一條 第十二條ノ規定ニ違反シ南方開發金庫又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用ヒタル者ハ五
百圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第四十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條 政府ハ設立委員ヲ命ジ南方開發金庫ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第四十四條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク出資ノ第一回ノ拂込ヲ政府ニ稟請スベシ

第四十五條 出資ノ第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク其ノ事務ヲ南方開發金
庫總裁ニ引渡スベシ

總裁前項ノ事務ノ引渡ヲ受ケタルトキハ總裁、副總裁、理事及監事ノ全員ハ設立ノ登記ヲ爲
スベシ

南方開發金庫ハ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第四十六條 南方開發金庫ノ初事業年度ハ第二十九條ノ規定ニ拘ラズ成立ノ日ヨリ昭和十八
年三月迄トス

第四十七條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外南方開發金庫ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令
ヲ以テ之ヲ定ム

第四十八條 政府ハ南方開發金庫ニ對シ貸付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ貸付ニ關スル歳入歳出ハ臨時軍事費特別會計ニ屬セシム

第四十九條 登録税法中左ノ通改正ス

第十九條第七號中「庶民金庫」ノ上ニ「南方開發金庫」ヲ、「庶民金庫法」ノ上ニ「南方開發金庫

法」ヲ、同條第十八號中「庶民金庫」ノ上ニ「南方開發金庫」ヲ加フ

第五十條 印紙税法中左ノ通改正ス

第五條第六號ノ二ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六ノ二ノ二 南方開發金庫ノ發スル債券